

クラウン・パッケージ
CSRレポート 2022





トップコミットメント

パッケージ技術で社会の課題解決に挑戦する

クラウン・パッケージは、2021年6月に創業60周年の節目を迎えました。当社は、これを機に新たな理念体系を構築し「パッケージ文化の創造を通じて持続可能な社会の実現に貢献する」という企業使命を掲げました。同時に「環境(E)」「社会(S)」「企業統治(G)」に関わる2030年までの目標として「CSRビジョン2030」を定め、より具体的な注力項目としてマテリアリティ(重要課題)を特定しCSRの取り組みを開始いたしました。これまで当社は、ものづくり企業として設備など目に見えるものに投資することを重視してきましたが、今後は、企業として社会にどう良い影響を与えていけるか、そのための投資や組織改革が重要になってきていると考えています。

コロナ禍が続いた2021年度は、通販やテイクアウトなどの巣ごもり需要にマッチした包装材のニーズが急増するとともに、環境負荷低減の観点からプラスチック製容器包装を紙製に置き換えようという動きが活発化し、当社の業績は比較的順調に推移しました。

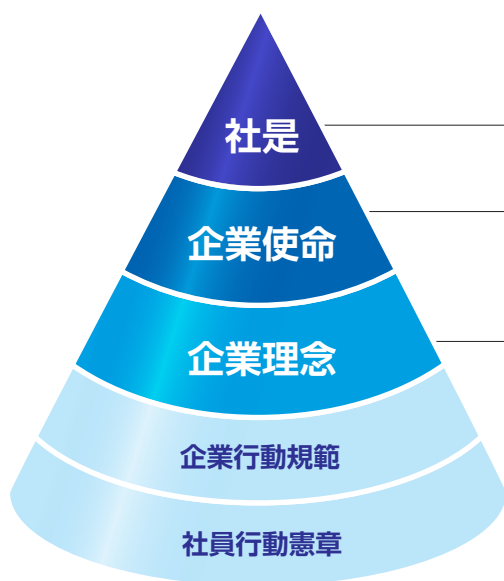
「CSRビジョン2030」の「環境」では、「2030年までにCO₂総排出量を2018年度比で30%削減する」という目

標を新たに設定し、製造現場でのエネルギー使用量の削減などに取り組んでいます。また、「社会」の取り組みとして多様性を尊重した人材の活用をめざすとともに、社員が安全かつ安心して働ける職場環境整備に努めた結果、「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」の認定を受けることもできました。こうした財務・非財務両面における実績は、新型コロナウイルスの感染拡大という危機に直面しながらも、全社員が一丸となって危機に立ち向かい協力・連携することができたからこそ成し得た成果だと考えています。

CSRに対する取り組みはまだ始まったばかりです。全社横断的なCSR推進組織を中心にSDGsの視点で活動を再定義して活性化させ、当社の持つパッケージ技術で社会課題を解決することに挑戦してまいります。ステークホルダーの皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長
佐光 恵藏

理念体系



巧遅は拙速に如かず

パッケージ文化の創造を通じて
持続可能な社会の実現に貢献する

1. 環境に優しいパッケージにて社会に貢献する
2. 他社に真似されても真似しない 常に新しいことに挑戦する
3. 新しいパッケージ文化及び物流システムの創造
4. 社員はパートナーであり同志である
5. お客様満足は社員の満足をもって達成される

クラウン・パッケージ CSRレポート 2022 目次

トップコミットメント	1
理念体系／目次／編集方針	2
クラウン・パッケージのあゆみ	3
CSRに対する考え方	5
■ 環境	7
■ 社会	9
■ 企業統治	13
会社概要	裏表紙

編集方針

本レポートは、お客様やお取引先様、従業員を含む幅広いステークホルダーの皆様に、クラウン・パッケージのビジョンや社会的責任についての取り組み状況をわかりやすくお伝えすることを目的に発行しました。

対象範囲

株式会社クラウン・パッケージ

対象期間

2021年4月1日～2022年3月31日(2021年度の実績を中心に一部本期間以前の情報を含め報告しています)

発行月 2022年10月

次回発行予定 2023年10月

クラウン・パッケージのあゆみ

クラウン・パッケージは2021年に創業60周年を迎えました。

好きな色を選べるカラフルなパッケージや耐油や耐水機能を備えた食品向け容器など、

“段ボール”でありながら“段ボール”らしくない、付加価値のあるパッケージを開発してきました。

これからもパッケージを通して社会課題の解決に貢献していきます。

1962年

愛知県春日井市にて
クラウン・パッケージ創業

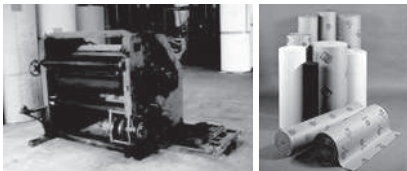


創業当時の佐光守藏社長
(現会長25歳頃)



1963年

全国輸出包装展で名古屋市市長賞を受賞



片面段ボールの機械

片面段ボール

1966年

グラビア2色印刷機を導入し
木目柄印刷の内製化を開始
(柄物段ボールの原点)

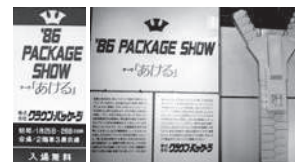
1972年

三菱電機、
換気扇「ロスナイ」の
熱交換器の部材に採用



1986年

パッケージ業界では初の
単独パッケージショー「あける」開催



1987年

極薄段ボール
「ミニ段」
(Fフルート)開発

段の種類 FLUTE

段ボールの「段」は「フルート」とも呼ばれ、その波形の大きさによって分類されています。7種類のうち、段の高さが低いFフルートとGフルートをクラウン・パッケージではマイクロフルートと呼んでいます。

マイクロフルート

Fフルート



段高0.6mmの極薄段ボールです。
段密度が低い分、最薄のGフルートよりも軽量です。

Gフルート



段高わずか0.5mmの超極薄段ボールです。
ダイレクトオフセット印刷が可能であり、
美粧性の高い印刷ができます。



マイクロフルート製
食品容器の例

売上高推移(億円)



1960年代～70年代

戦後政府の木材資源利用合理化方策の施行により
木材消費を抑える動き

段ボール活躍の場を開拓

- 片面段ボール緩衝材に名入れ印刷をして販促効果をプラス
- 贈答用木箱に代わり、段ボールに木目柄を印刷したパッケージで森林資源の節約に貢献

1980年代

バブル景気により消費や生産活動が拡大
お中元やお歳暮の全盛期で数多くのギフトパッケージが使われる

段ボールで美しさを極める

- 気持ち伝える色・柄・風合いを追求
- 美粧段ボール業界を牽引
※美しい色や柄を施した段ボール

2006年

佐光守藏社長が会長に、
佐光恵藏副社長が社長に就任

2006年

日本初のシェルフレディ
パッケージング開発



「パリットボックス®」

2000年

東京パック大規模出展



2000年

ISO9001 全段ボール製造拠点にて取得



2003年
ISO14001

全段ボール製造拠点にて取得

2008年～

環境貢献型素材
「スマートパピエ®」開発



カカオ



パームヤシ



笹の葉



紅花



ブルーベリー



ゴマ



茶葉



2015年

社会貢献型素材
「カラフルウイッシュ®」開発



広島平和記念公園の折り紙

2015年

FSC®/CoC 認証
全製造拠点にて取得



責任ある森林管理
のマーク

2018年～

FSSC22000(食品安全
マネジメントシステム)
認証取得(東京・大阪・
埼玉・名古屋の各事業所で認証取得)



2021年

昨年に引き続き
健康経営優良法人2022
(大規模法人部門) 認定取得

売上高
501億4,334万

— 500(億円)

— 400

— 300

— 200

— 100

300億突破

400億突破

2000
[40期]

2010
[50期]

2021
[61期]

(年度)

※1962年度[1期]～1989年度[28期]まで9月決算、1990年度[29期]以降3月決算

1990年代

廃棄物の最終処分場の不足と逼迫が社会問題に

マイクロフルートで新たなパッケージ市場を開拓

- Fフルートによる食品容器開発で、プラスチックから紙製の容器への転換を実現
- Gフルートで多様な印刷方法に対応し、パッケージの薄物化・軽量化が加速

2000年～

容器包装リサイクル法完全施行

SDGs(持続可能な開発目標)が国連で採択

段ボールで環境と人に貢献

- スマートパピエの開発で、未利用資源を有効活用
- FSC認証紙の多彩なラインナップで、お客様のご要望に対応
- 千羽鶴の思いを未来につなぐ折り鶴混抄パッケージの開発

CSRに対する考え方

私たちクラウン・パッケージは「パッケージ文化の創造を通じて持続可能な社会の実現に貢献する」との企業使命のもと、環境に配慮した事業運営や、安全かつ安心して働ける職場づくり、人に配慮した製品の開発に日々邁進しています。CSR経営をより具体的に実現していくための羅針盤として、2021年にマテリアリティを特定しCSR基本方針を定めたほか、全社横断的なCSR推進組織を立ち上げ活動を進めています。また2030年に向けたCSRビジョン、環境ビジョンを以下のとおり定めています。

CSR基本方針

私たちは永遠のベンチャー企業精神を持ち続け、未来の当たり前をつくることをめざし、あらゆるステークホルダーの皆様から愛され信頼される企業活動を行います。

- 1 パッケージを通して社会からの期待に応えるとともに社会課題の解決に取り組みます
- 2 環境に配慮した事業運営を行い、脱炭素社会、循環型社会の実現に貢献します
- 3 人権と多様性を尊重し、誰もが生き生きと働き活躍できる職場づくりをめざします
- 4 高い倫理観のもとコンプライアンスを重視し、公正・公平な企業活動を行います

CSRビジョン2030

環境	CO ₂ 総排出量 2018年度比30%削減
社会	多様性を尊重した人材活用(ダイバーシティ雇用30%以上) ^{※1}
企業統治	ガバナンスの強化(コンプライアンス、リスク管理、BCP) ^{※2}

※1 ダイバーシティ雇用：女性、障がい者、外国人、高齢者の雇用。

※2 ガバナンス(企業統治)：健全な企業経営をめざす、企業自身による管理体制。

コンプライアンス：法令遵守だけではなく倫理的な企業活動も含む。

BCP(Business Continuity Plan：事業継続計画)：自然災害、システム障害など、緊急事態が発生した場合でも重要な業務が継続できる方策を立て、事業継続と復旧を図るための計画。

環境ビジョン2030

重点領域	2030年の目標
温室効果ガス排出量の削減	CO ₂ 総排出量2018年度比30%削減
	再生可能エネルギーの導入と活用
資源循環	天然資源の持続可能な利用の推進
	廃棄物のリサイクル率99%以上

マテリアリティ(重要課題)

マテリアリティとは、CSRに関わる幅広い取り組みのなかで自社の事業活動や社会に与える影響度から判断し、とくに注力すべきものとして特定した課題のことです。当社では、自社にとっての重要度のみならず、各ステークホルダーにとっての重要度を反映してマテリアリティを特定しました。

	マテリアリティ(重要課題)	貢献するSDGs
 環境	●環境に配慮した事業運営	   
	●環境配慮型製品の開発・推進	 
 社会	<ul style="list-style-type: none"> ●人権の尊重 ●安心して長く働ける職場環境の整備 ●多様性を尊重した働き方の推進 	  
	<ul style="list-style-type: none"> ●製品の品質向上と安全性の確保 ●社会課題の解決に寄与する製品の開発と推進 	  
	●地域社会との調和と社会貢献活動	 
 企業統治	<ul style="list-style-type: none"> ●内部統制と透明性の確保 ●コンプライアンスの推進 	
	●リスク管理	

マテリアリティ特定プロセス

① 社会課題の抽出

「ISO 26000:社会的責任に関する手引き」に基づき、事業と関わりの深い社会課題について部門横断的に討議を重ね、当社が貢献すべき課題を抽出しました。

② 重要課題の決定

抽出した課題について当社にとっての重要度とステークホルダーにとっての重要度を点数化しマッピングをした後、双方にとって重要度が高いエリアに分類された項目を重要課題として特定しました。

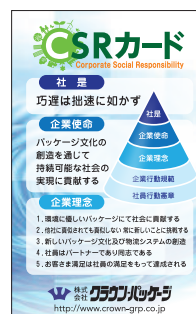
③ KPI※の設定

重要課題の達成度合いを測るために、KPIを設定し部門ごとに進捗管理を行っています。

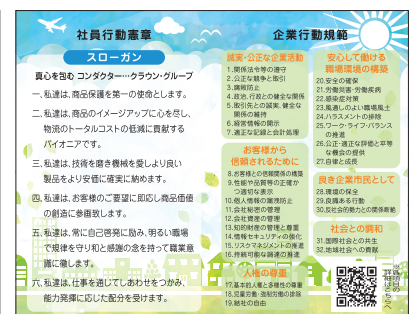
※ KPI(Key Performance Indicator)……重要業績評価指標

CSRカードで社員に周知

当社では、社員にCSR意識を浸透させるツールとして「CSRカード」を全社員に配布し携帯させているほか、社内すべての研修会等でも活用しています。特定したマテリアリティについても、このCSRカードに記載することで、全社員への周知を図っています。



CSRカード





環境に関わる活動

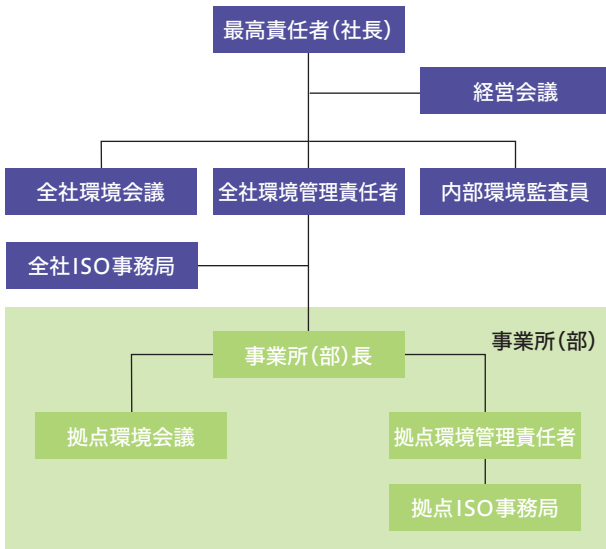
クラウン・パッケージでは、「環境ビジョン2030」の達成を念頭に、全社横断的に環境への取り組みを推進しています。国内の全事業所でISO14001の認証を取得し、エネルギー使用に関わるCO₂総排出量削減、廃棄物削減、環境配慮型パッケージの提案などさまざまな取り組みを行い、事業活動から生じる環境負荷の継続的な低減を推進しています。

環境方針

私たちは美粧パッケージのパイオニアとして、トップマネジメントのリーダーシップのもと、「環境に優しいパッケージにて社会に貢献する」との企業理念に基づき、時代の風をよみ、地球資源を大切に、廃棄物をも資源に変えてお客様のニーズに合った製品づくりに努めます。その過程においても環境汚染を抑え、生態系の保護にも配慮し、法を遵守した事業活動に努めます。

環境マネジメント体制

環境マネジメント推進体制 組織図



省エネルギー、省資源の取り組み

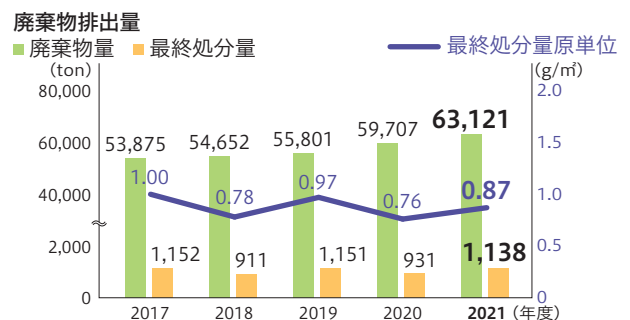
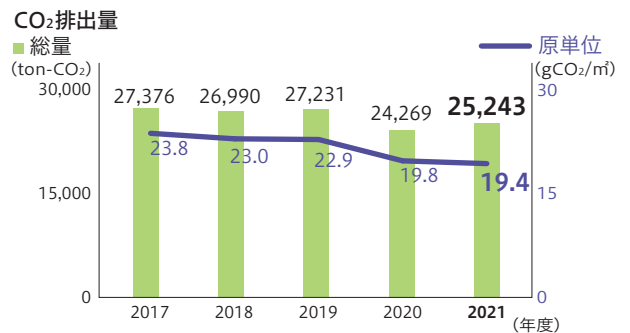
当社は、「CSRビジョン2030」にて「2030年までにCO₂総排出量を2018年度比で30%削減する」という目標を新たに設定し、気候変動対策に取り組んでいます。

2021年度のCO₂総排出量は、25,243t/CO₂で、基準年である2018年度から6.5%の削減となりました。削減の主な要因は、高効率機器への更新や、ボイラー燃料の重油からガスへの切り替え、生産性の向上などの施策による効果が高

かったと考えています。一方、廃棄物排出量は、63,121tとなり、2018年度比で15.5%の増加となりました。増加の主な要因は生産量の単純増加や加工難易度の高い製品の増加であると分析しています。

また、2021年度のリサイクル率は98.2%となっており、「環境ビジョン2030」の目標であるリサイクル率99%の達成に向けて廃棄物の削減や適切な分別など、取り組みをさらに強化していきます。

KPI報告



FSC® 認証製品の普及促進

FSC認証は、適切に管理された森林と、責任をもって調達された林産物に対する国際的な認証制度です。当社では2015年にFSC/CoCを取得して以降、多くの認証製品を市場にお届けしています。認証製品に対しては、第三者による厳しい監査が行われるため、ユーザーのお客様にとってトレーサビリティを確保できる信頼性のある認証制度です。

お客様の認知度が上がるとともにFSC認証製品の出荷量は年々増加しており、2021年度は前年度比133%となりました。今後もFSC認証製品の普及促進を積極的に行っていきます。



責任ある森林管理
のマーク



FSC認証製品のイメージ

FSCマーク

段ボールマークとリサイクルの推進

日本における段ボール回収率は95%以上を誇り、回収後はまた新たな段ボールをつくり出すことができる環境に優しい素材です。ただ、段ボール製品にはリサイクルが困難な素材も一部含まれているため、一般消費者の方々が容易に分別をできるように、リサイクル可能な製品には「段ボールマーク」を表示するとともに、アクセシブルデザインを取り入れてリサイクルを推進しています。アクセシブルデザインによりお子様やお年寄りの方でも小さな力で解体ができ、リサイクル率の向上につながっています。



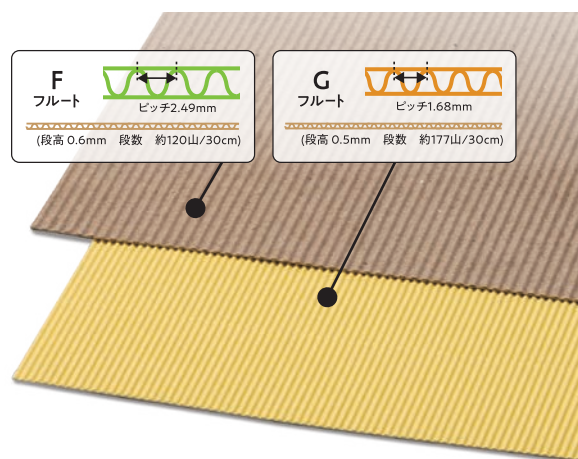
Accessible
Design Package
アクセシブルデザイン
パッケージに入れられるマーク



段ボールマーク

環境配慮製品の開発 製品の軽量化、薄物化

当社は「マイクロフルート」と呼ばれる、段の高さが0.5～0.6mmの極薄段ボールの製造で業界をリードしています。従来の厚い板紙のパッケージをマイクロフルート製に切り替えることにより、強度や緩衝性を高めながら軽量化を実現し、原料の紙パルプ資源の節約や、パッケージ廃棄後のごみの減容化にも貢献することができます。また、パッケージの軽量化により輸送時の燃料消費が抑えられ、温室効果ガスの削減にも貢献します。



使い捨てプラスチックの削減

海洋にて分解されないプラスチックごみや焼却時に多くのCO₂を排出するプラスチック製品が社会問題になっています。こうしたプラスチック廃棄物を削減するため、当社はプラスチックに代わる紙製の食品容器や、プラスチック使用量を大幅に削減できる緩衝材付き発送箱などを開発しています。段ボールに耐油や耐水機能などを付与することで、プラスチック代替素材としての可能性を広げることが可能です。



プラスチック削減例



社会に関わる活動

クラウン・パッケージでは、環境に優しく人が使いやすいパッケージの開発によって、事業を通じた社会課題の解決をめざしています。また、社会から信頼され、必要とされ続ける企業を目指し、厳格な品質管理と積極的な品質向上に努めるとともに、社員がそれぞれの能力を存分に発揮し、生き生きと働くことのできる職場環境の整備に努めています。

製造に関わる取り組み

当社の製造部門は、3S（整理・整頓・清掃）を基盤として全社員の安全を第一に考え、お客様より要求される品質の提供と納期の遵守に努めています。

品質マネジメント

お客様の要求事項を満たすため、また将来のニーズと期待にお応えするため、製品・サービスの改善に励んでいます。

当社は、国際的な品質マネジメント規格であるISO9001を取得し全社の品質管理を主管する組織としてISO事務局が中心となり、「品質方針」「品質管理規定」に則って体制強化を図っています。



QMS・EMS
ISO 9001, ISO14001
JSAQ 903, JSAE 633



MS
CM001

食品安全マネジメント

当社では、マイクロフルートの特長を活かした食品テイクアウトボックスやコンビニスイーツのトレー等の食品容器を製造しています。そのため、すべての業務を食品安全マネジメントシステム(FSMS)であるFSSC22000に準拠させています。顧客満足の向上を達成すべく、全員でFSMSに準拠した生産活動に取り組んでいます。



東京事業所・大阪事業所・埼玉事業所・名古屋事業所・昭和工場・小牧工場で認証取得

技術向上の取り組み

工程責任者が参加する全社製造会議を定期的に開催しています。事業所別の実績報告や事業所内で発生する製造上の課題点をそれぞれが持ち寄り、情報交換や意見交換等を行うことで、全社的な技術向上に結び付けています。



全社製造会議の様子

調達に関わる取り組み

当社では、CSR調達基本方針のもと、お取引先様のご協力をいただきながらサプライチェーンマネジメントの取り組みを開始しました。

お取引先様へのCSRアンケートを実施

2021年度は初の取り組みとして、お取引先様に対しCSRに関わる取り組み状況を4段階で自己評価していただくアンケート(任意)を実施し、全体の40%ものお取引先様より回答いただきました。

今後は、アンケート回答率の向上をめざすとともに、当社の取り組みについてさらなる周知を図り、双方にとって健全で有益なサプライチェーンの構築に努めていきます。



人を中心とした製品の開発

当社は、作業性を向上させた人に優しい製品開発や、届ける人へ思いをつなげる製品開発に取り組んでいます。

作業者の負担を軽減するパッケージ

欧米で主流の店頭販売方法であるシェルフレディパッケージング(直ぐに陳列ができる包装)は、POPや印刷等で販促効果を持たせつつ、商品設置の手間を減らしたり、商品に直接触れることなく陳列ができるなど、労働作業面や衛生面でも効果を発揮します。



「パリットボックス®」の使用例

平和のメッセージを込めたパッケージ

広島平和記念公園には毎年約1000万羽の折り鶴が届けられますが、当社は展示後の折り鶴を「カラフルウイッシュ®」という紙素材にリサイクルし、パッケージにしています。売り上げの一部は、日本ユネスコ協会連盟へ寄付しており、被災地の子どもたちへの奨学金支援活動や発展途上国に学びの場所をつくる活動等に役立てられます。「カラフルウイッシュ®」には、子どもたちに明るい未来を届けたいという平和のメッセージが込められています。



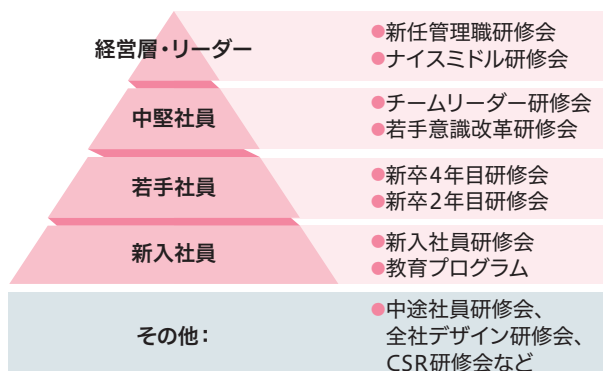
広島平和記念公園の折り鶴

教育プログラム

当社は、企業の持続的な成長のためには人材育成が最も重要な要素の一つと捉えています。育成のステップに合わせたさまざまな教育プログラムを実施しています。

基本教育

基本教育では、社会人としての心得や基本的な考え方、会社の理念などの理解・習得を主な目的とした新入社員研修や、会社の風土や仕組みを知り即戦力化を目的とした中途社員研修等をベースとして、当社が必要とする人材の育成に注力しています。



専門教育

製造工程で活躍できるオペレーター(機械操作者)育成に技術と時間を要することから、早期戦力化を目的として教育専用機を設置した「オペレーター育成トレーニングスクール」を開講しています。対象者は毎年各事業所から選抜され、基礎の機械セッティングから製品品質に至るまで、約1ヵ月間専任指導者による教育を受けます。



オペレーター育成トレーニングスクールの様子



社会に関わる活動

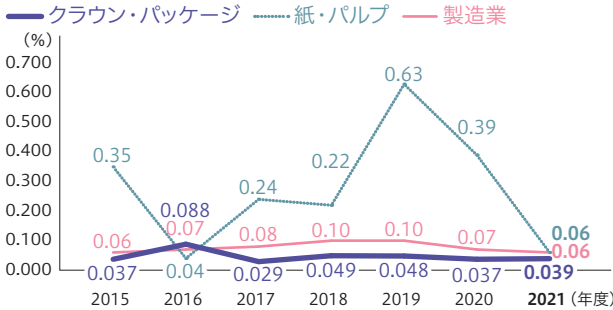
安全・安心な職場環境づくり

当社は“人材は最大の資産”という考え方のもと、従業員と会社が互いに良好な関係を構築するために、職場環境の整備、従業員の安全配慮、各種制度の充実を図ってきました。今後は、よりいっそうワーク・ライフ・バランスと多様な働き方に対応し、従業員の生産性や定着率の向上に努めていきます。

労働災害への取り組み

当社の労働災害で高い比率を占めるのは「挟まれ・巻き込まれ」事故です。入社1年～3年未満の社員に比較的多く発生していることから、各事業所に「安全道場」を設営し、現場配属1ヵ月以内に安全指導者による初期教育を実施しています。主に挟まれや巻き込まれ、転倒、切創といった内容の危険模擬体験をすることで、機械や設備に潜んでいるリスクを認識してもらい安全行動の推進に努めています。

強度率[※]の推移



※強度率：1000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表したもの



安全道場での巻き込まれの危険模擬体験の様子

働きやすい職場環境づくり

従業員の働き方に対しては、時代のニーズに合わせた様々な取り組みを実施しています。時間単位で取得できる年次有給休暇、永年勤続者を対象



埼玉事業所の2階オープンテラスの様子

としたリフレッシュ休暇、産前産後・育児休業、介護休業、特別休暇制度など、各種制度を充実させ、安心して長く働ける職場環境を整えることで、従業員の満足度向上を図っています。

バリアフリー化の推進

障がい者や高齢者が働きやすい環境を整えるため、エレベーターの導入やスロープの設置を進めています。



車いす専用駐車場から入口まで

クラウン工園

障がい者雇用を推進するため、外部機関が提供する農園運営事業に参画しています。当社の通常業務の中には、障がいの種類によっては対応が難しいものも多かったため、障がいの内容に関わらず従事できる農業(野菜づくり)を取り入れています。採れた野菜は従業員に配られ、健康促進にも貢献しています。



クラウン工園での野菜づくり

地域とのコミュニケーション

当社は、地域社会との調和と社会貢献活動を重要課題の一つとして、地域に密着した活動に取り組んでいます。

災害時応援協定

当社の工場が所在する自治体のうち、5つの市町(宮城県蔵王町、埼玉県飯能市、神奈川県伊勢原市、奈良県葛城市、佐賀県鳥栖市)と災害時応援協定を結んでいます。災害が起こった際には、当社の主力製品である段ボール製の食品容器を提供するほか、避難所に設置する簡易的な衝立やベッドなども供給する協定となっています。



蔵王町災害時応援協定の調印式の様子

小中学生へSDGs講義

当社が取り組んでいるSDGsの目標達成に貢献する活動の紹介をはじめ、個人が実際の私生活で取り組めることなどを、地元の小中学生に対してわかりやすく説明しています。一方的な講義のみではなく、ゲーム体験等を通して、学生でも興味が持てるようにSDGsの大切さを伝えています。



SDGs講義の様子

さいたまくらうん保育園

2021年度埼玉事業所にて、子育て世代の社員が仕事と育児を両立できるよう、事業所内に企業主導型保育施設として「さいたまくらうん保育園」を開園しました。2022年3月時点で4名の園児が登園しています。また、地域枠も設けており、地元の待機児童問題の解消にも貢献しています。



保育園の様子

社会関連データ

従業員数

2,195名

男性 1,786名 女性 409名



平均年齢



男性 38.1歳
女性 37.0歳

平均勤続年数



男性 12年4カ月
女性 8年3カ月

管理職比率



男性 97.3%
女性 2.7%

新卒採用数



男性 40名
女性 20名

中途採用数



男性 127名
女性 23名

障がい者雇用率



2.58%

有給休暇取得率



31%

育休取得者数



男性 2名
女性 19名

※従業員数以外はすべてクラウン・パッケージ単体での計算



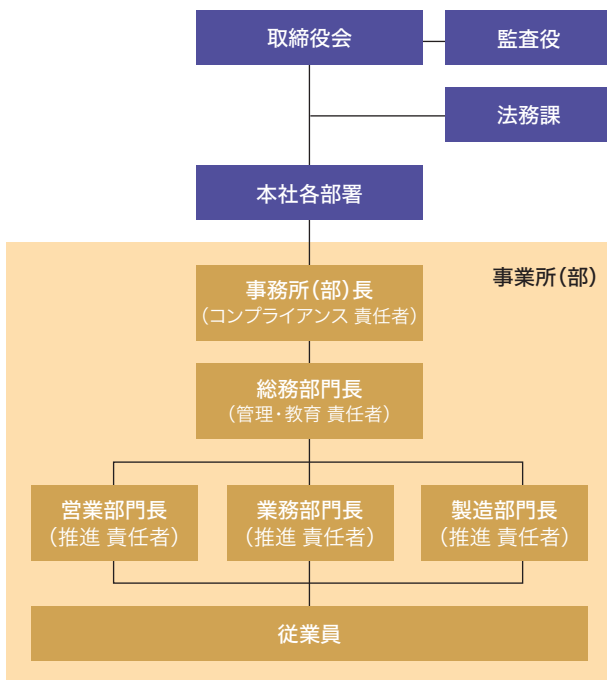
企業統治に関わる活動

クラウン・パッケージは、「パッケージ文化の創造を通じて持続可能な社会の実現に貢献する」という企業使命に則った経営を行うため、厳格なコーポレートガバナンス体制を構築し、ステークホルダーの信頼を高め、企業価値の向上を追求していきます。

コンプライアンス体制

当社は「企業行動規範」を定めており、「誠実・公正な企業活動」「お客様から信頼されるために」「人権の尊重」「安心して働ける職場環境の構築」「良き企業市民として」「社会との調和」を6つの柱として、コンプライアンス(法令遵守)を徹底しています。

6つの柱をさらに32の項目に細分化し当社社員に周知と教育を実施することで、コンプライアンス意識を醸成するとともに経営環境や社会情勢の変化を捉えて毎年内容を見直しながら、より有効で実践的なものとしています。



健康経営

当社の企業理念では「社員はパートナーであり同志である」と謳っており、パートナーである社員が健康で生き生きと働くことができる職場環境を整えることが重要と考えています。会社は、社員とその家族の健康がかけがえのない経営資源かつ経営基盤であると認識し、一方社員は整備さ

れた環境のなかで高いパフォーマンスを発揮し、生産性と業績の向上をめざします。



昨年に引き続き健康経営優良法人2022(大規模法人部門)の認定を受けました。

知的財産権

当社では、自社の知的財産を適切に管理・活用するとともに、他者の所有する知的財産権を尊重し、侵害または不正使用を行わないことを企業行動規範で定め、知財調査や権利化を進めています。また社内向けには、知的財産に関わる情報発信や教育周知活動を継続的に実施し、実効性のある運用を心がけています。

特許 <ul style="list-style-type: none"> ●カメラの自動焦点合わせ機能 ●長寿命の充電電池 等 	実用新案 <ul style="list-style-type: none"> ●ラップフィルムの箱の構造 ●鉛筆の形状 等
商標 <ul style="list-style-type: none"> ●商品の名前 ●商品のロゴ 等 	意匠 <ul style="list-style-type: none"> ●机や椅子のデザイン ●自動車のデザイン 等

リスクマネジメント

社会情勢や環境が大きく移り変わるなかで、企業を取り巻くリスクも毎年変化しています。当社としても自社が晒されているリスクを洗い出し、そのなかから危険度(重要度)が高いリスクに対して優先的に対策を実施していくことが不可欠であると考えています。

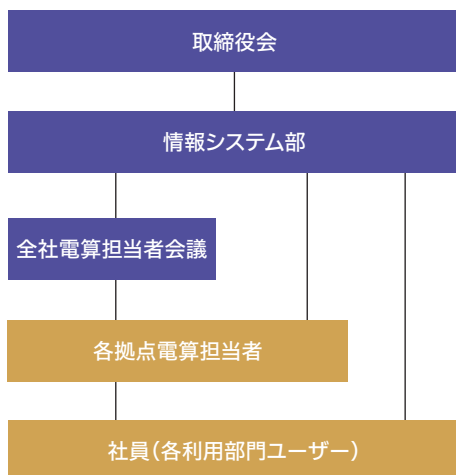
危険度の判定は、影響度と発生可能性に基づき評価し、2022年度に注力すべきリスクとして全12項目を特定し、優先的にリスク回避へ取り組むこととしました。

- 自然災害・事故 1項目
- 法務・コンプライアンス 2項目
- 財務・経理 2項目
- 運輸・物流 1項目
- 情報システム 2項目
- 人事・労務(就業・安全) 4項目

情報セキュリティガバナンス

当社では、情報システム管理規定による情報セキュリティ規定を設けるとともに、取締役会、情報システム部、全社電算担当者会議、拠点電算担当者、社員(各利用部門ユーザー)の5層からなる情報セキュリティガバナンス体制を整えています。

実際に情報を取り扱う社員には、入社時にセキュリティ教育を実施しているほか、毎年1回全社員を対象としたアンケート形式のITセルフアセスメントを実施することにより、情報セキュリティポリシーの教育・浸透を行っています。一方、取締役会と情報システム部の上位2層は、情報セキュリティ施策に基づいた監視・報告、緊急時の対応、インシデント防止のための予防措置を実施する役割を担っています。



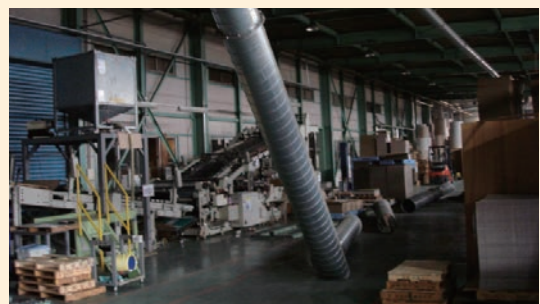
CASE STUDY

東日本大震災で得た経験をガバナンスの強化に活かしています

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、当社の仙台事業所は甚大な被害を受けました。従業員の安否は確認できたものの工場建屋の損傷は激しく、当初は復旧のめども立てられない状況にありました。

一方、仙台事業所の事業再開に向け、会社全体として非常に素早い対応を行ったことが功を奏し、地震発生から間を置かずに設置した全社緊急対策本部が的確な支援を実施したことにより、2週間程度で工場の復旧を完了することができました。また地震発生翌日の午前には、名古屋本社からの支援物資が到着するなど、有事の際に従業員同士が底知れない団結力を発揮できたことは、事業継続やCSRとは何かを考えるきっかけとなりました。

クラウン・パッケージでは、東日本大震災で得たこうした経験を経営陣による方針策定や従業員一人ひとりのマインドセットに役立てるなど、BCPの構築はもちろん、リスクマネジメントやコーポレートガバナンス体制の強化に活かしています。



地震によりダクトが落下している様子



救援物資到着

会社概要

商号 株式会社クラウン・パッケージ
 本社所在地 〒485-8654 愛知県小牧市小針三丁目67番地
 創立 昭和37年6月15日
 資本金 1億円
 従業員数 2,195名(グループ全体) 1,803名(単体)
 関連会社 株式会社 包む
 クラウンパッケージ販売 株式会社
 株式会社 コダマサービス
 株式会社 ヒューマンエコーズ
 株式会社 オカモト紙工

Webサイトのご案内

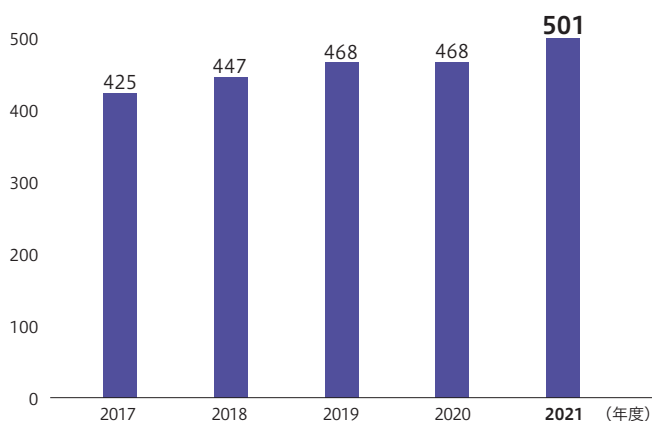
詳細情報(事業活動やCSRの取り組み情報など)
 につきましては、当社Webサイトをご覧ください。

<http://www.crown-grp.co.jp/csr/>



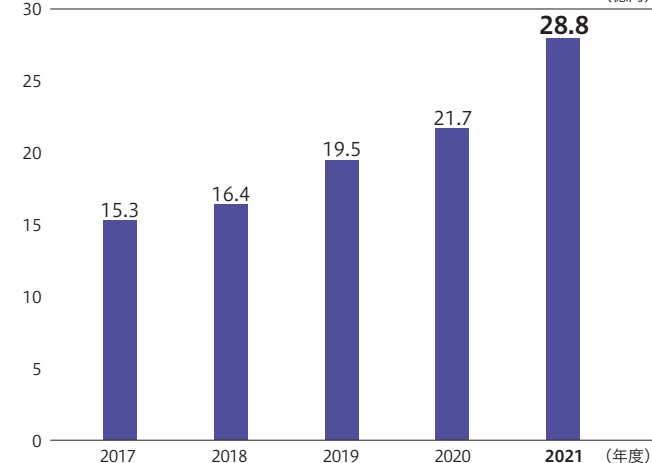
売上高

(億円)



経常利益

(億円)



クラウン・パッケージは限りある地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。
 本レポートは、環境に配慮したFSC®認証紙を使用しており、環境保護印刷推進協議
 会(E3PA)の認証を受けたグリーンプリンティング認定工場で作成されました。

クラウン・パッケージは、海と日本
 PROJECT推進パートナーです。

ユニバーサルデザイン(UD)の考
 え方に基づき、より多くの人へ適
 切に情報を伝えられるよう配慮
 した見やすいユニバーサルデザ
 インフォントを採用しています。